



「女性の自信を取り戻す」 人工乳房で乳がん患者をサポート

【プロフィール】

福岡県生まれ。IT企業を退職後、医療用ウィッグを製造・販売する株式会社ナチュラルの立ち上げメンバーとして活躍。乳がんで乳房を失った女性たちを支えるため、人工乳房の開発に着手。2014年にナチュラルブレスト株式会社を設立。

ナチュラルブレスト株式会社 代表取締役社長 本田 幸恵氏

フェムテックの人工乳房で 乳がん患者の悩みに寄り添う

罹患率が年々増加している乳がん。女性の9人にひとりが乳がんになるといわれており、そのうちの4割が乳房切除手術を受けています。再建手術では胸の膨らみを再現できるものの傷跡により肌の露出をすることが難しく、温泉などで人目に触れることを恐れてしまう人も少なくありません。そこで「女性に自信を取り戻してほしい」と、人工乳房や人工ニップレスの製造・販売に取り組んでいるのが、博多区住吉のナチュラルブレスト(株)です。

代表取締役社長の本田幸恵さんは「もともと親会社の株式会社ナチュラルで、抗がん剤治療を受けられた方の医

療用ウィッグ販売に携わっていました。その中で、女性のお客様には圧倒的に乳がんの方が多いと感じ、そういう方々の力になれないかと人工乳房の製造をスタートさせました」と振り返ります。

本田さんは日本で初めて人工乳房を開発した技術者のひとりと知り合い、ナチュラルブレストオリジナルのフェムテック商品の開発を進めていきました。フェムテックとは、Female(女性)とTechnology(技術)を掛け合わせた造語で、女性のライフステージで起こる問題をテクノロジーで解決する製品やサービスのことを意味します。従来、切除していない乳房から石膏で型取りをして人工乳房を作るという工程をナチュラルブレストでは3Dスキャンに置き換え、時間を短縮。設計においても

3DCGや3Dプリンターを駆使し、精度の高い形状を実現しました。さらに、シリコンの配合に改良を重ねて質感も向上させたほか、独自の自己粘着シリコンによる接着面の「ゲルフィット」(ナチュラルブレスト特許技術)を開発。着脱の煩わしさを大きく軽減するとともに、本来の肌との繋ぎ目が目立たないようになっています。

「人工乳房は日本企業でつくり始められて20年ほどの歴史の浅い製品です。当社では、中小企業という強みを活かし、お客様の声をすぐに製品に反映して試行錯誤してきました。それにより、ゴルフやヨガなどのスポーツをしてもズレたり外れたりすることが少なく楽しめるようになりました。さらに、接着面は、汚れたら洗って乾かすだけで粘着力は



1



2



3



4

1 接着面の「ゲルフィット」は特許取得。スレにくい使い勝手から、乳がん患者だけではなく、外傷や発育不全などにもニーズがあるそう
3 乳がん学会などにブース出展し、医療関係者にも積極的にPR。現在では顧客の約半分が病院からの紹介だという

2 そのクオリティの一端を担うのが、手作業による彩色。一人ひとりの特徴に合わせて、色を塗って仕上げていく
4 国内外のお客さまに対するリモート販売は、英語も話せるスタッフが対応しているという

元に戻ります。簡単に着脱できて手入れも楽なので、毎日使って生活を楽しんでもらえるはずです」と本田さん。

セミオーダーやサロンとの提携で 様々な人にもっと身近な商品に

人工乳房の販売を開始した翌年、2016年には傷口に合わせて作るフルオーダーメイドの人工乳房を発表。その後、価格を抑えたセミオーダーメイドタイプを発売しました。「乳房の形状データが集まったことで、製品の形状をパターン化することができました。セミオーダーメイドの商品は、フルオーダーメイドの半額程度の価格に抑えることができたので、より多くの人に使用してもらえたら」と本田さんは期待を込めます。また、本人の肌の色に合わせて技術者が色付けをすることで、血管までもリアルに再現。最近では、様々な技術を組み合わせ、ヒアリング時に撮影した写真をもとに非対面での色付け対応も可能になったそうです。

さらに、医療用ウィッグで培ったサロンの販売網を活用することで、全国的美容室と提携して商品の販売拠点を拡

大。またエステサロンなどの契約も拡大し、現在は全国40箇所でナチュラルプレストの人工乳房を購入することが可能になりました。医療関係者にも積極的にアプローチを重ねたことで、病院から紹介を受けて来店されるユーザーも増えてきたそうです。本田さんは「医療業界では、再建手術が主流で人工乳房を知らない関係者が多い状況もありました。再建手術は健康な筋肉、皮下脂肪や皮膚を移植するケースもあり、体への負担はもちろん、外見の変化によるメンタルへの影響も少なくありません。この人工乳房の認知度が高まっていけば、治療後の選択肢が広がるはずです」と話します。

「前向きに生きるために」 高精度の人工乳房を世界へ

「世界的に見ても当社ほど精度の高い人工乳房はないと思います」と自信を見せる本田さん。実際、インドネシアやシンガポールなど、海外のユーザーも増えてきました。海外展開にあたっては、福岡商工会議所が構成機関のひとつとなっている「ワンストップ海外展開

相談窓口」を活用し、海外での医療機器登録なども進めたといいます。現在は、リモート販売に対応しているほか、今春には中国や韓国に店舗を構えるなど、大きく海外展開を進めていく予定です。

本田さんは「これから乳がんの手術を受ける人だけではなく、20年前、30年前に手術を受けて体の変化を諦めてしまった人でも、当社の人工乳房を使えば自信を取り戻せると信じています。おひとりで悩まず、前向きに生きるためにも、ぜひ私たちに相談してもらえたら嬉しいですね」と呼びかけています。

取材日：2月9日



ナチュラルプレスト株式会社
 〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-18
 福岡芸術センター507号
 TEL: 092-292-3883
<https://www.naturalbreast.co.jp/>